



SUNTORY

2023年9月12日

〈ニュースリリース〉

ENEOS株式会社
サントリーホールディングス株式会社

ENEOS（株）と サントリーホールディングス（株）による、 国内での廃食油調達における協業について

ENEOS（株）（以下「ENEOS」）とサントリーホールディングス（株）（以下「サントリー」）は、バイオマス資源の有効活用を目指し、国内未活用の廃食油調達における協業を行います。

現在、国内で排出される事業系廃食油の多くは、飼料やインク原料にリサイクルされていますが、一部は利用されずに輸出または廃棄されています。両社は今般の協業にて、未活用廃食油のバイオマス資源としての有効活用を推進します。

具体的には、ENEOSが（株）野村事務所、（株）吉川油脂とともに構築を進める国内廃食油の安定調達の仕組みに、まず始めにサントリーグループで外食事業を担う（株）ダイナック・井筒まい泉（株）が参画します。将来的には、サントリーの酒類製品の取引先である約8万店の料飲店ネットワークにおける未活用廃食油の調達に向けて、協業を進めてまいります。

料飲店より調達した廃食油は、ENEOSが2026年を目標に事業化を進める持続可能な航空燃料（以下「SAF」）の製造プラント（和歌山製油所・40万KL／年）で原料として使用する予定です。なお、SAF製造の過程で同時に得られるバイオナフサからバイオペットボトルを製造し、サントリーの料飲店向けスピリッツ製品等の容器への活用も検討します。これにより、廃食油調達からバイオペットボトルによる製品提供まで、料飲店ネットワークを活用した資源循環の実現を目指します。

ENEOSは、グループ長期ビジョンにて、エネルギー・素材の安定供給を果たしながら、エネルギーのトランジションによって、カーボンニュートラル社会の実現を目指すことを掲げております。その一環として、SAFの原料調達・自社製造・販売まで一貫体制の構築を進めており、SAFの製造に必要な廃食油や植物油を持続可能な形で確保するため、国内および世界にて、廃食油回収の仕組みの構築や非可食植物に関する検討を行っております。

サントリーグループは、企業理念に「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命（いのち）の輝き』をめざす。」を掲げ、創業以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。2019年には「プラスチック基本方針」を策定し、ペットボトルに関しては2030年までに「100%サステナブル化※」することを目標にさまざまな取り組みを行っています。

※リサイクル素材あるいは植物由来素材等100%に切り替え、新たな化石由来原料の使用をゼロにする

両社は、廃食油の活用を通じて引き続き、脱炭素・循環型社会の実現に向けて取り組みを推進してまいります。

<廃食油回収～バイオペットへの資源循環（イメージ）>



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

【問い合わせ先（報道用）】

ENEOS株式会社 広報部 広報グループ 03-6257-7150

【商品別問い合わせ先】

(SAF) ENEOS株式会社 バイオ燃料部 バイオ燃料総括グループ
03-6257-5295

(バイオペット) ENEOS株式会社 基礎化学品販売部 パラキシレングループ
03-6257-7296

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。
さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。
社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。
「人間の生命(いのち)の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。